

# 指定管理者総合評価シート

評 価 者	教育委員会指定管理者選定評価委員会
評価対象期間	平成24年4月1日～平成28年3月31日

## 1 基本情報

施 設 名	千葉市科学館	指定管理者	トータルメディア開発研究所・凸版印刷共同事業体
指 定 期 間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所 管 課	教育委員会生涯学習部 生涯学習振興課
指 定 管 理 事 業 の 概 要	①施設運營業務 ②施設維持管理業務 ③経営管理業務 ④自主事業		

## 2 総合評価

### (1) 過年度の管理運營業務に対する評価

評価項目	評 価	評価の理由
1 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理	A	概ね事業計画通りの実績・成果が認められた。 ○モニタリングの考え方 ・月次報告書において自己評価を実施したほか、意見箱やアンケートにより利用者意見を収集した。
(1)関係法令等の遵守(個人情報)	A	
(2)関係法令等の遵守(情報公開)	A	
(3)モニタリングの考え方	A	
(4)市内産業の活性化	A	
(5)公正な利用受付	A	
2 市民サービスの向上	A	概ね事業計画通りの実績・成果が認められた。 ○利用者への支援 ・利用者アンケートの結果を真摯に受け止め、丁寧な接客業務に努めた。 ・リピーター対策事業として、メンバー会限定講座やメールマガジン配信などを実施している。メンバー会の家族会員制度の周知を強化した結果、第一期指定管理期間に比べ、会員数が約1.7倍に増加した。
(1)利用者への支援	A	
(2)利用料金	A	

評価項目	評価	評価の理由
3 施設の効用の発揮、施設管理能力	A	概ね事業計画通りの実績・成果が認められた。
(1) 利用促進方策	A	○展示事業 ・企画展示事業において、市の定めた基準(年間3~4回)よりも多く実施した。平成26年度に実施した夏の特別展は過去最高の利用者数を記録した。
(2) 運営体制	A	・企画展の利用者数は、第一期指定管理に比べて約1.8倍に増加した。
(3) 施設・備品の維持管理	A	○教育普及事業 ・毎年、市内小学校のほぼ100%が科学館を利用している。
(4) 展示事業	S	・来館者の参加意欲を促す様々な講座や、話題性の高いテーマの講演会を時期に合わせ実施した。
(5) 教育普及事業	S	○ボランティア事業 ・ボランティアを講師とした勉強会や、ボランティアが企画した講座など、ボランティアの活躍の場を積極的に増やした。
(6) プラネタリウム事業	A	○その他事業 ・科学フェスタメインイベントについて、来場者数が右肩上がり増加した。
(7) ボランティア事業	A	・大学等研究機関や産業界、市民団体などへの連携が広がり、県外の研究機関や、地元企業が多く参加するイベントとなった。
(8) その他事業	S	・大型商業施設や、市外のイベント、敬老会など、様々な場所でのアウトリーチ活動を行った。
(9) 自主事業	A	○自主事業 ・星と音楽のひとときが毎回満席になるなど好評であった。
4 管理経費の縮減	A	概ね事業計画通りの執行となっている。
(1) 支出見積の妥当性	A	○支出見積の妥当性 外部委託を抑えたり、リースの見直しをしたりして経費の削減に努めた。
(2) 収入見積の妥当性	A	

【評価の基準】

S…事業計画を超える実績・成果が認められた。

A…概ね事業計画通りの実績・成果が認められた。

B…事業計画通りの実績・成果が認められず、改善を要する事項があった。

総合

A

(2) 次期指定管理者の選定に向けての意見

市による評価はおおむね妥当であると認める。

また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、財務に関する事項で特記するものはないと認める。

その他、大学、民間企業等との連携と、その情報発信による「科学都市ちば」の確立へ寄与していくことを本委員会の意見とする。